



尾形的

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

第二十九章
おえる。



スズメバチは、日本で最も危険な野生動物である。熊害や毒蛇の咬害よりも、スズメバチによる刺害の死亡例の方がはるかに多いのだとか…。

本来、ジョウバチが越冬場所へと移動する頃には、営巣活動も停止され、ハタラクバチの数も急激に減るため、冬から初春にかけてはスズメバチを見かけることはまずないというのが相場だった。ところが、近年の温暖化の影響か、従来の活動期以外でも活発に活動するスズメバチが現れ、被害が各地で報告されているというニュースを、テレビで見たことがある。

そもそも私はハエでさえ駄目なほど大の

虫嫌いである（決して可愛い子ぶってるわけではない）。図鑑や標本を見るのさえ嫌なのに、この写真は…。

仕事で和歌山の「那智の滝」にいた夫が、撮影を終え、駐車場に置いてある自分の車へと近づいた時、足下に転がった小さな異物に目が止まった。一瞬ドキッとしたが、それが動かないことがわかり、安心する。

野外を飛び回るハタラクバチの寿命は、そう長くはない。成虫になった彼らは、ハタラクバチという役割を与えられると、約2週間から1ヵ月程でその生涯を閉じるらしい。

役割を終えたのか、彼は冷たいコンクリ

ートの上で静かに横たわっていた。時として、人に恐怖すらもたらすスズメバチの変わり果てた姿に、何とも言いようのない衰れを感じた夫は、それを写真に収めて帰って来たのだった。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>